

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公開番号】特開 2006-314147(P2006-314147A)

【公開日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-045

【出願番号】特願 2006-228063(P2006-228063)

【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/28 (2006.01)**

**H 0 4 L 12/56 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 12/28 2 0 7

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 23 日 (2007.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線ネットワークを構成するノードのルーティング経路設定方法において、  
前記ノードが、ルーティング経路設定要求メッセージを受信する段階と、  
前記ノードが、前記受信されたルーティング経路設定要求メッセージの目的地ノードが  
前記ノード自身であるか否かを判断する段階と、  
前記ノードが、ルーティングテーブルを保存しておらず、前記目的地ノードが前記ノード  
自身であると判断した場合に、前記ノードが、ルーティング経路設定応答メッセージを  
伝達する段階と、  
を含むことを特徴とするルーティング経路設定方法。

【請求項 2】

前記ノードが、前記目的地ノードが前記ノード自身ではないと判断した場合に、前記ノードが、  
前記ルーティング経路設定要求メッセージを他のノードへ転送する段階を更に含むこと、  
を特徴とする請求項 1 に記載のルーティング経路設定方法。

【請求項 3】

無線ネットワークを構成するノードのルーティング経路設定方法において、  
前記ノードが、ルーティング経路設定要求メッセージを受信する段階と、  
前記ノードが、前記受信されたルーティング経路設定要求メッセージの目的地ノードが  
前記ノード自身であるか否かを判断する段階と、  
前記ノードが、ルーティングテーブルを保存しておらず、前記目的地ノードが前記ノード  
自身ではないと判断した場合に、前記ノードが、前記ルーティング経路設定要求メッ  
ッセージを他のノードへ転送する段階と、  
を含むことを特徴とするルーティング経路設定方法。

【請求項 4】

前記転送する段階において、  
前記ノードが、ルーティングテーブルを保存しておらず、前記目的地ノードが前記ノード  
自身ではないと判断した場合に、前記ノードが、ルーティング経路設定応答メッセージ

を伝達せず、前記ルーティング経路設定要求メッセージを他のノードへ転送すること、  
を特徴とする請求項 3 に記載のルーティング経路設定方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】個人通信無線ネットワークにおけるルーティング経路設定方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明は前述した問題点を解決するために案出されたもので、本発明の目的は、R R E Q メッセージについて複数の R R E P メッセージが受信されることを防止する方法を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

前述した本発明の目的を達成するために、無線ネットワークを構成するノードのルーティング経路設定方法は、前記ノードが、ルーティング経路設定要求メッセージを受信する段階と、前記ノードが、前記受信されたルーティング経路設定要求メッセージの目的地ノードが前記ノード自身であるか否かを判断する段階と、前記ノードが、ルーティングテーブルを保存しておらず、前記目的地ノードが前記ノード自身であると判断した場合に、前記ノードが、ルーティング経路設定応答メッセージを伝達する段階と、を含むことを特徴とする。

前記ルーティング経路設定方法は、前記ノードが、前記目的地ノードが前記ノード自身ではないと判断した場合に、前記ノードが、前記ルーティング経路設定要求メッセージを他のノードへ転送する段階を更に含む構成であってもよい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、本発明の目的を達成するために、無線ネットワークを構成するノードのルーティング経路設定方法は、前記ノードが、ルーティング経路設定要求メッセージを受信する段階と、前記ノードが、前記受信されたルーティング経路設定要求メッセージの目的地ノードが前記ノード自身であるか否かを判断する段階と、前記ノードが、ルーティングテーブルを保存しておらず、前記目的地ノードが前記ノード自身ではないと判断した場合に、前記ノードが、前記ルーティング経路設定要求メッセージを他のノードへ転送する段階と、を含むことを特徴とする。

前記ルーティング経路設定方法は、前記転送する段階において、前記ノードが、ルーティングテーブルを保存しておらず、前記目的地ノードが前記ノード自身ではないと判断した場合に、前記ノードが、ルーティング経路設定応答メッセージを伝達せず、前記ルーティング経路設定要求メッセージを他のノードへ転送する構成であってもよい。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

前述したように本願発明は、目的地ノードでだけ RREP メッセージを転送することによって、複数の RREP が生成されることを防止することができる。